

科目名	インターンシップ	JABEE科目	科目コード 617
-----	----------	---------	--------------

学年・学科等名	1 学年	専攻共通	専門的・必修
単位数・開講期	4 単位		
総時間数	180 時間	実習 120 + 自学自習 60	
担当教員	三井 聡・宇野 直嗣・有馬 達也・戸村 豊明・沼田 ゆかり		

JABEE関連	教育プログラム科目区分	304専門工学科目④実務対応系
	教育プログラムの学習・教育目標	E-3(100%)
	JABEE基準	dh

教科書名	
補助教材	
参考書	

#### A. 教育目標

企業等で4週間さまざまな就業体験を通し、学校では経験しない、実際の課題に取り組み、訓練をし、高専5年間に得られた知識、能力をさらに発展し、問題解決能力を養うことを目的とし、技術者が社会に負っている責任を自覚し、技術者としての心構えについて学習する。

#### B. 概要

本科目は4単位としているが、実習先の都合で全ての単位が満たせない場合は、他の実習先で単位を補うこととする。

また、専攻主任が実習先に期間中訪問し、企業等の対応責任者と業務内容、就業の様子を聞く。終了後、実習証明書、報告書を提出する。

さらに、インターンシップ報告会において成果を発表する。

#### C. 学習上の留意点

受入企業等の中から、学生の希望、企業等の要望を勘案し、実習先(民間企業、国、地方公共団体等)を決める。課題は実習先から与えられ、与えられた制約の下で、自主的、積極的に仕事を進める。

ただし、実習先については本人の希望を考慮するが、実習先の都合により希望に沿えない場合もある。

#### D. 評価方法

評価項目	指針	評価割合
企業の評価	・複眼的な思考能力をもとに、創造的に課題探求・解決を行ったか。	30 点
学生の報告書	・複眼的な思考能力をもとに、創造的に課題探求・解決を行ったか。	30 点
報告会	・資料等のわかりやすさ、発表のわかりやすさ、時間配分、質疑応答の的確さ。	20 点
インターンシップへの取り組み	・自らが考えて課題解決を進めたか。	20 点

E. 授業内容

授業項目	時間	内容	教育プログラム
実施期間	120	基本的に、4週間(120時間)とする。	E-3
実習先対象となる企業等		旭川高専産業技術振興会会員企業を中心とし、その他受け入れ可能な国、地方公共団体、教育委員会、大学等で補う。	
課題		実習先からのテーマを学生と企業等の間で協議し決定する。	
期間中		当該学生の所属専攻主任が訪問し、状況を把握し、改善点があれば方策をする。	
報告書		学生は実習終了時にインターンシップ報告書を作成し、実習先と学校に提出する。 実習先から学生の実習状況について、インターンシップ評価書を学校に提出する。	
報告会		旭川高専産業振興会会員企業等が参加し、報告会を行う。	
◆自学自習	60	報告書作成、報告会の発表準備(要旨集、パワーポイント)。(60時間)	

F. 関連科目

卒業研究、実験、実習